

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農政課		■担当係	農政企画係
■評価事業名称	北上農業振興計画策定事業			
■評価事業コード	050100 - 181	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興		
	■施策	01 農業の生産性向上		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	成長産業として持続的に発展する「きたかみ農業」を展開するため、関係者が共有する明確なビジョン(目標)をその実現に向けた方策を掲げること。北上市農政審議会で素案を検討し、きたかみ農業ビジョンを策定するもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	北上農業振興計画策定事業	農業者		農政審議会(4回)、策定検討委員会(3回)、庁内作業部会(3回)、農業関係機関・団体との意見交換(8団体)、策定アドバイザー意見聴取(3回)、パブリックコメント(2/20~3/11)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費				641	
人件費				5,665	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				6,306	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
	農業関係機関・団体との意見交換回数				延べ8団体	より多くの関係者の意見を反映するための指標と考えられるため。
	農政審議会開催回数				4回	計画策定に係る議論の場として、必要にして十分な会議を開催すべきと思われるため。

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

24年度に計画を策定し、25年度以降、目標の達成に向けて具体的な事業を推進するものである。

問題点・課題等

24年度に「きたかみ農業ビジョン」を策定したが、今後、関係する団体等で組織する連絡調整会議において、ビジョンで掲げた目標達成のため、具体的な取り組みを推進する必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■ 今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)の行方によっては、これまで以上に農業振興への取り組みが重要になってくるとされる。